つ待に力協るな誠熱の位各民市

震 1 3 調 施設に就い

今.

を

T

は あ 9 50 -00-

> -9--12

4

3

2

9 00

-00

-

9

-22

4

·m

-N

9 600

0 -

9

-D-

4 m

\$ \$P\$ 是に 得、是、國。り 幸 鄢;各; K 3 を駆けたな変には、大震火災のを離れては、東連を関いたの事で、一般では、東連を制まれては、東連を制まれては、東連を制まれては、東連を制まれては、東連を制まれては、東連を制き、大災のを輸出をしては、大災のを輸出をしても、大災のを輸出をしても、大災のをできません。 復り書版に計まる。前書 十五日 とを各世 氏名や 一月五 になりま 午上: 前零時現在 調:帶:日· を査のか配事人。ら 布項:員:調: した。 E た 印じを 員:

調 查 事 項

世帯 に就ては

住宅罹災ノ種類。全類、半郷、全計、半部、全流失世帯人はノ現存者。死者、行衛不明者、失職、世帯大はノ現存者。死者、行衛不明者、失職

破損 华流失 破損 無。

人 四 = = 世居所氏名(東京所) 「本が、東京所) 「本東京所) 「本東京の) 「本東京の 「 住:職業 震災 當時, 體維等 震災 當時, 全職 牛は現れ 焼き職業 氏名 世帶主文八世帶主トノ續柄 軽い 無関係ノ家 全流失 华流失 死亡 行衛不明

現住所二在留見込期間

破"损

無。

大正十二年十一月

東京市 役 所